



主催：大津市発達障害者支援センターかほん
共催：大津市障害者自立支援協議会、社会福祉法人おおつ福祉会
協力：滋賀県自閉症協会、滋賀LD等発達障害親の会トムソーヤ

2023年度 学習会のご案内

ご要望いただき、今年度も当センター主催で「学習会」と「保護者・家族交流会」を開催させていただくことになりました。
ご興味のある方は、お気軽にご参加くだされば幸いです。

場所 全て回で、皇子が丘公園 体育館 大会議室で実施

(駐車場あり 京阪大津京駅・JR大津京駅より徒歩2・5分)

対象 どなたでも可能です。

お申込期間 実施日2日前まで。

講師 大津市発達障害者支援センターかほん 小崎大陽、他

お申込方法 昨年度に続き、インターネット (以下のサイト) で 承ります。



<https://forms.gle/axHfwWTDeYuGnGcx9>

しが夢翔会

検索

当法人ホームページからもアクセスできます。

やり方が分からない方や、インターネット環境が無い方は、最終ページのお問合せ先にご連絡ください。
申し込みで記入いただいた個人情報は、その保護・管理に留意し、この学習会に関してのみ使用いたします。

※ このチラシは、当法人・センターのホームページでもご覧いただけます。

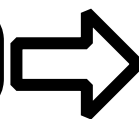
自閉症の“そもそも”なハナシ



一言に「自閉症」「支援」と言っても、詳しくは様々な切り口や考え方があります。
それらの土台として、まず自閉症を中心に発達障害・行動障害に関する基本的な理解や支援現場での関わり方を学んでいただく学習会です。

理解編

「自閉症」等についての基本的な障害理解



支援編

理解に応じて必要となる基本的な支援

2回で1セットのシリーズです。

「知的障害のある方中心」コースと「知的障害が無い・“軽度”の方中心」コースがありますが、
基本的な内容は同じです。

基礎編のみ・支援編のみの参加や、同じ編への繰り返しの参加も歓迎です。

自閉症支援のいろいろなハナシ



ご要望をいただき、「自閉症の“そもそも”なハナシ」の続編を企画いたしました。

「自閉症支援」をする上で、「〇〇法」とか「△△プログラム」といった手法を多く耳にします。いずれか一つだけで、あらゆる場面・あらゆる自閉症児者の生活全体を豊かにすることは、難しいです。ただ、様々な当事者・支援・実践や制度に触れる中で、最低限知っておくべき手法があるようにも思います。

では、それらの手法各々はどんな考え方で、具体的な実践のどんな場面でどのように使うと役立ち、期待できる効果は何でしょう？ これを知ってくださることで、目の前の当事者の方にたいして、万能ではないけれど良い支援のために役立つ方法（引き出し）を一つ得ていただけるのでは、と存じます。「知っているけど、再度どんな手法・考え方が確認してみたい」という方も歓迎です。



お断り

当センターの職員は、それぞれの手法を一定学んで実践してきましたが、手法自体を専門的・学術的に深める研究職ではありません。この学習会はそういった意味での厳密な正確性よりも、当事者の方を目の前にした実践で具体的にどう使えるか、をできるだけ大切にしようと考えています。



一言に「発達障害」と言われることは多いですが、その中に自閉症とかADHDとかLDとか様々なものが含まれ、それぞれに違うものです。その違いを捉えずにいると、支援がうまく進まなかったり、当事者等が困ることになってしまいがちです。

そこで、この回ではADHDだけに焦点をあてて、その障害理解と必要な支援について取り上げたい、と思います。



- ◆「自閉症の“そもそも”なハナシ」「自閉症支援のいろいろなハナシ」で取り上げた内容にも少し触れて、自閉症とADHDとの違いをはっきりさせることで、ADHDを深められるようにします。
- ◆[ADHD=知的障害]ではありません。ただ、学習会の中では、部分的に「ADHDの傾向のある知的障害」の人についても触れられれば、と考えています。

高校大学生の・に向けた支援の現状とポイント



当法人では、2015年から、厚生労働省「発達障害児者地域生活支援モデル事業」等で滋賀県から高校・大学生に関する事業を受託し、様々な高校・大学・先生方・学生さん・保護者さん・支援関係者等と関わらせていただいております。この事業受託を通しての蓄積を、皆さんと共有したいと思います。

具体的には、高校・大学で行われる支援や、その年代や大人になって気持ちよく頑張っているために、高校・大学生時代あるいはそれまでに必要な支援などを取り上げます。

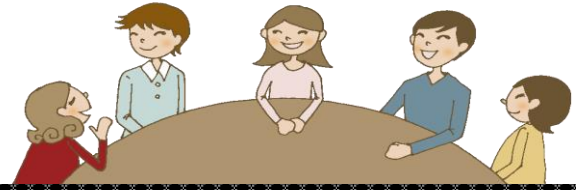
医師 による 研修会

支援者限定企画

大津市内の福祉・教育・就労などの支援関係者が連携させていただくことが多い、精神科等の医師をお招きして、講演等などをしていただきます。詳しくは、9～10月

頃に当法人ホームページ等でご案内いたします。
この回のみ、申込み方法等が異なります。

詳しくは、別紙のチラシを
ご参照ください。



保護者・家族交流会

今年度新企画

「発達段階」をふまえた「発達障害」支援

発達
段階



発達障害
(特性)

子どもや知的障害のある人の支援や発達検査の中で、「発達の〇歳段階」というキーワードを見聞きします。また、「発達障害」とか「(発達)特性」というキーワードも見聞きします。それぞれのキーワードを、別々の場面・文脈でふれることも多くあります。また、それぞれが別の支援方針を示しているように見えて、混乱しちゃうことはありませんか？ しかし、目の前の障害がある子ども・大人は一人一人なわけで、「特性のある × 〇歳段階」ということになります。このかけ算を発達段階ごとにお示しするのが、この研修のメインテーマです。また、補足的に「発達検査とは何か？」も解説さし上げます。

- * 本研修内容は、滋賀県障害者自立支援協議会の令和3・4年度コース別研修(障害児支援)における小崎担当分と、重複する部分が多くございます。
- * 中学生くらいまでの子ども、あるいは、知的障害のある子ども・成人への支援者や指導者に特に有効な研修となります。

【お申込み時・申込み後の注意点】

- **天候等による日程変更・中止の場合**は、メールあるいは当法人・当センターホームページ上でお知らせいたします。
- 感染症や天候の状況によって、学習会前日などにメールをさし上げることがございます。事業所のアドレスで一括してお申込みの場合、**当方からのご連絡が事業所内で参加の皆さまにご周知**されるよう、ご配慮ください。
- 例年、ほとんどの回で定員に達します。しかし、年度初めに多くの回にお申込みいただくものの、秋頃からお参加の無い方がおられます。多くのお申込みは大変歓迎ですが、**スケジュール管理や、できればキャンセル時の早めのご連絡**をいただくと幸いです。
- 申込みいただくと、申込み完了通知の自動メールが送信されます。代理申込みや参加是非の管理にご不安のある方は、**通知メールを受信できるよう迷惑メール・受信拒否等のフィルタを設定**し、メールの保存やプリントアウトをお願いいたします。

【新型コロナウイルス等の感染症に関して】

新型コロナウイルスの状況は改善していますが、福祉・教育等は感染症対策が重要な業界です。特別なご事情がある場合を除き、本チラシ作成時点では、基本的に以下を継続いたします。

必須！ お願いします	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前など、手洗いの励行。 ・「咳エチケット」 ・マスクの着用 ・当日会場に来る前に、あるいは、会場で計測した体温の申告 	
参加ご遠慮 ください	<ul style="list-style-type: none"> ・体温が、37.5度以上 ・体調がすぐれない方 ・感染の不安のある方(咳、喉の痛み、全身倦怠感、呼吸困難、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、他) ・陽性者との濃厚接触等がある。家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。 [その他、感染やその心配が考えられる] 	
実施上の 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・会場 - 窓のある部屋で、窓の開放や定期的な換気を行います。(クーラー・エアコンを強くはしますが、各自でも暑さ・寒さへの対策をお考えください。) - 会場の定員よりも少なめの研修定員を設定し、座席間隔を広く取ります。 - 当事者さんが暮らす事業所や通う学校での開催はしません。 ・グループワークの参加は、任意にいたします。申込みフォームで参加有無をご選択ください。(「緊張するから」「一人でじっくり考えたい」等の理由で、グループワーク無しを選択いただいても大丈夫です。) ・今後の流行状況によって、対策を強化・軽減します。場合によっては、中止・延期します。中止等の場合は、メールあるいは当法人・当センターホームページ上でお知らせいたします。 	

【参加料】

無料	大津市内にある事業所・学校・機関等にご所属の方
	大津市民の方
200円(資料代)	上記以外の方

【実施日時】

研修名・コース・編		日	時間	定員	
自閉症の 「そもそも ハナシ」	「知的障害のある方中心」 コース	理解編	7月 27日 (木)	10:00~12:00	60人
		支援編	8月 9日 (水)	10:00~12:00	40人
	「知的障害が無い・ “軽度”の方中心」 コース	理解編	8月 23日 (水)	10:00~12:00	60人
		支援編	9月 6日 (水)	10:00~12:00	40人
自閉症支援の 「いろいろな ハナシ」	いろいろな手法と、その使い方		1月 10日 (水)	9:30~12:30	60人
	「分かりやすく、 気持ちよく自立的に動ける」 ～構造化のハナシ～		2月 16日 (金)	9:30~12:30	40人
	「“良い”行動を増やして、 “しんどい”行動を減らす」 ～応用行動分析のハナシ～		3月 12日 (火)	9:30~12:30	40人
ADHDの理解と支援		10月 11日 (水)	9:45~12:15	40人	
高校大学生の・に向けた 支援の現状とポイント		12月 5日 (火)	9:30~12:30	40人	
医師による研修会		12月21日 (木)	16:00~18:30	20人	
「発達段階」をふまえた 「発達障害」支援		11月 14日 (火)	9:30~12:30	40人	
保護者・家族交流会		別紙のチラシをご参照ください。			

※ 「自閉症支援のいろいろなハナシ」は、「自閉症の“そもそも”なハナシ」を踏まえた内容になっています。ただ、「“そもそも”なハナシ」は、「いろいろなハナシ」への参加の前提条件ではありません。また、「“そもそも”なハナシ」参加経験がなくても、「いろいろなハナシ」が一定理解できるような内容・構成にはなっております。

※ 本学習会の内容について、事業所・学校や複数人数のご家族等がお集まりの場所への出前学習会は、昨年度まで同様に実施しております。ご入用の際は、ご遠慮なくご依頼ください。(市民・市内事業所向けは、基本的に無料)

お問合せなど

社会福祉法人しが夢翔会 大津市発達障害者支援センターかほん

Tel 077-526-5477 Fax 077-534-4479

cajon.kenshu@gmail.com (事務所を空けての業務が連続する時期は、返信まで数日いただく場合がございます。)

〒520-0860 大津市石山千町 270-3